

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

企業人600人に聞いた「企業の小学生に向けた取り組み意識」アンケート速報！

学校の勉強以外で小学生の頃にやっておいた方がよいこと
「友だちと遊ぶ」「自然・生物と触れ合う」が2トップに
企業が小学生に向けて活動する目的は「地域・社会貢献」「将来のファンづくり」

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、昨今多くの企業で、「出前授業」「理科実験教室」「自由研究サポート」「職場見学」など、子どもの“未来”に関わる活動が行われていることを受け、小学生に向けた企業の取り組みや、小学生に対する企業人の意識について、アンケート調査を実施しました。

アンケート概要

期間：2018年6月18日（月）～7月4日（水）

対象：日本能率協会会員企業、夏休み宿題・自由研究大作戦サポーター企業、日本能率協会の展示会に出展来場企業のうち主に営業、マーケティング、管理部門を抽出

アンケート方法：インターネット調査

回答数：625人

【属性】 **性別** 男性：459人（73.4%）、女性：166人（26.6%）

業種 製造業：250人（40.0%）、非製造業：375人（60.0%）

所属部門 営業：119人（19.0%）、マーケティング・宣伝：118人（18.9%）、経営企画：89人（14.2%）、総務・人事・経理：77人（12.3%）、研究・開発：58人（9.3%）、CSR：23人（3.7%）、生産・技術：15人（2.4%）、広報：12人（2.0%）、その他：114人（18.2%）

勤務先従業員数 10,000人以上：82人（13.1%）、3,000～10,000人未満：94人（15.0%）、1,000～3,000人未満：84人（13.4%）、300～1,000人未満：124人（19.8%）、100～300人未満：91人（14.6%）、100人未満：150人（24.0%）

※回答は少数点第2位を四捨五入

アンケート結果

ポイント

- ◆企業人の約半数が、自分の会社が「小学生と関わる取り組みをしている」と回答。
取り組みの目的は「地域・社会貢献」「将来のファンづくり」など、社会や子どもの未来を意識
- ◆学校の勉強以外に小学生のうちにやっておいた方がよいこと
「友だちと遊ぶ」「自然・生物と触れ合う」がともに7割超
- ◆企業人として、いまの小学生に対して心配なこと「ネットやゲームばかりしていること」「自分で考える力が不足していること」「友だちと遊ぶ時間が不足していること」がトップ3に。コミュニケーション力に懸念か。
- ◆企業人がやりたい自由研究、「人間」テーマがトップに。企業人の最大の関心は、やはり人間関係か？

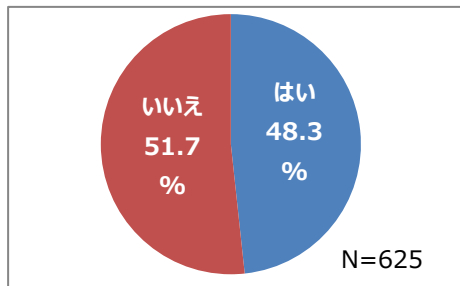
【本件に関する問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報室（担当：斎藤）

〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22

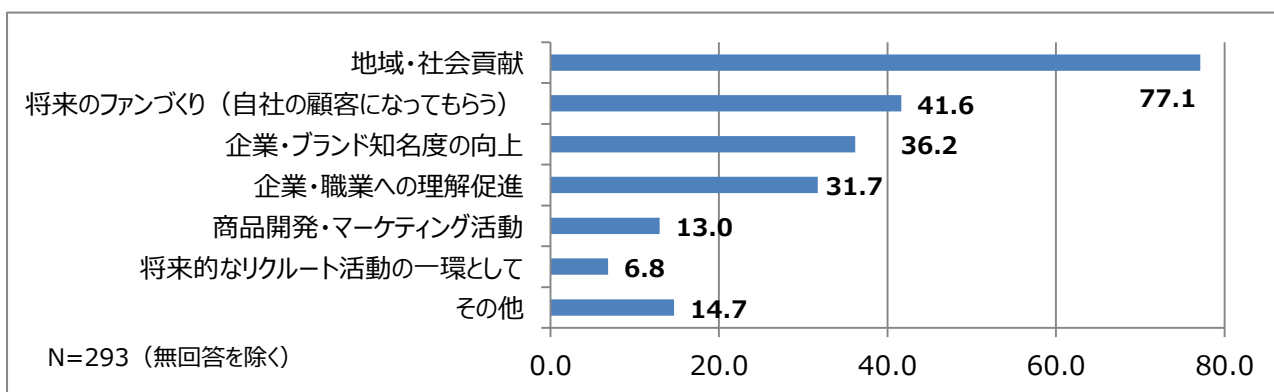
TEL：03-3434-8620 または 080-3201-4599 E-mail：jmapr@jma.or.jp

◆あなたの会社では、小学生と関わる取り組みをされていますか。（1つだけ選択）

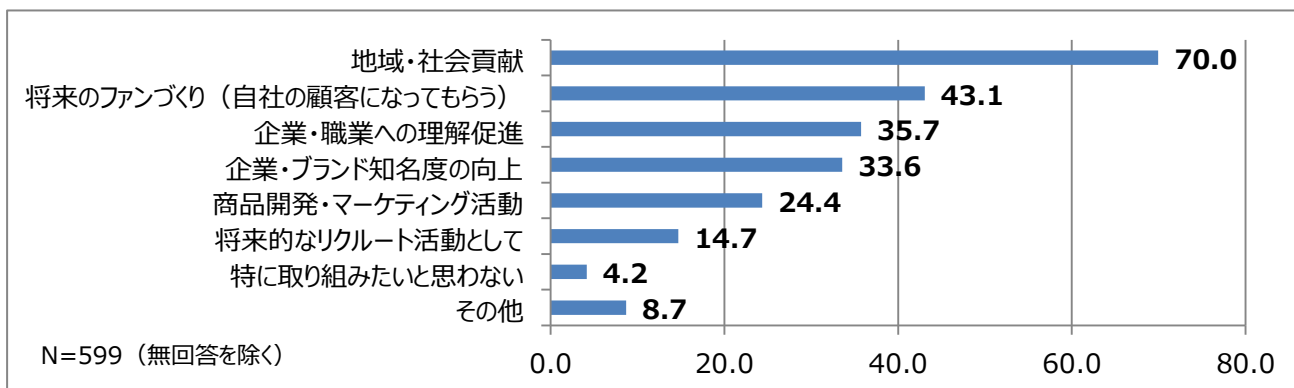


「勤務先の企業が小学生と関わる取り組みをしている」と回答した人は48.3%と、約半数にのびりました。

◆【「はい」と回答した方のみ】あなたの会社では、どのような目的で小学生と関わる取り組みをされていますか。（あてはまるものをすべて選択）



◆あなたの会社で【今後】小学生と関わる取り組みを行うとしたら、どのような目的で行うのがよいと思いますか。あなた個人の意見をお聞かせください。（あてはまるものをすべて選択）

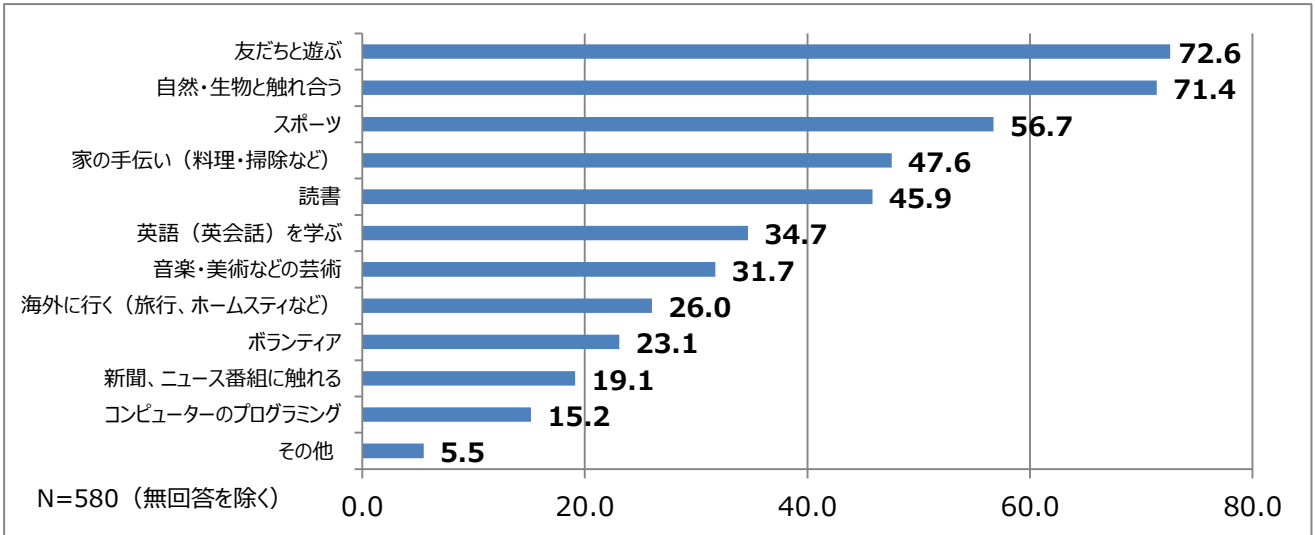


現在、勤務先の企業が小学生に向けた取り組みを「行っている」と回答した人に、どのような目的で行っているか聞いたところ、「地域・社会貢献」が77.1%と最多で、ついで「将来のファンづくり（自社の顧客になってもらう）」（41.6%）、「企業・ブランド知名度の向上」（36.2%）と続きました。

今後、行うとしたらどのような目的がよいか聞いたところ、同様に「地域・社会貢献」が70.0%と最多で、「将来のファンづくり（自社の顧客になってもらう）」（43.1%）、「企業・職業への理解促進」（35.7%）と続きました。

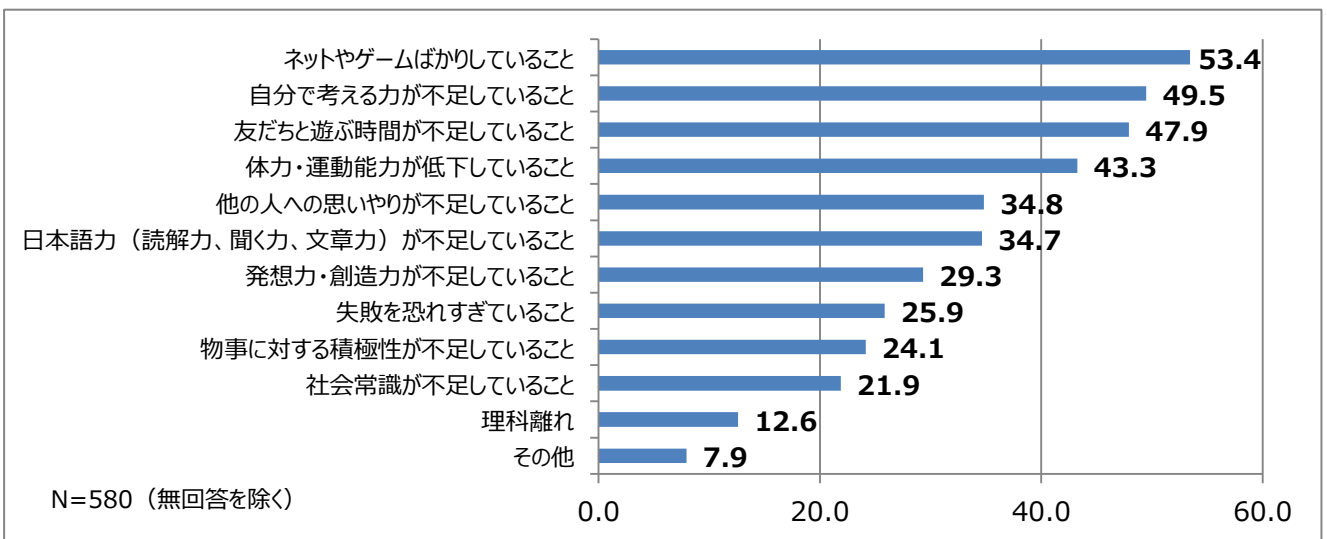
特徴的な変化として【現在】と【今後】で比較すると「商品開発・マーケティング」（11.4ポイント増）「将来的なリクルート」（7.9ポイント増）とそれぞれ増えています。子ども達との関わり合いの中で実益を伴った活動も視野に入れた展開が、これから増えることが想定されます。

◆学校の勉強以外に、小学生の頃にやっておいた方がよいと思うことは何ですか。（5つまで選択）



学校の勉強以外に、小学生の頃にやっておいたほうがよいと思うことを聞いたところ、「友だちと遊ぶ」（72.6%）、「自然・生物と触れ合う」（71.4%）となり、ともに7割を超えました。次いで、「スポーツ」（56.7%）、「家の手伝い（料理・掃除など）」（47.6%）、「読書」（45.9%）と続きました。企業人にとっては、多くの子どもが習い事として学んでいる「英語」「音楽・美術などの芸術」「プログラミング」以上に、まずは「遊び」や「自然・生物との触れ合い」を重視していることがうかがえます。

◆企業人として、いまの小学生に対して心配なことは何ですか。（5つまで選択）



いまの小学生に対して心配なことを聞いたところ「ネットやゲームばかりしていること」（53.4%）で最多となり、次いで「自分で考える力が不足していること」（49.5%）、「友だちと遊ぶ時間が不足していること」（47.9%）「体力・運動能力が低下していること」（43.3%）と続きました。企業人は、現代の子どもたちが、ネットやゲームに時間をとられ、友だちと遊んだり、体を動かしたりする時間が不足していることを心配しているようです。

◆あなたが小学生時代に行った自由研究で、一番印象に残っているものは何ですか。（自由回答）

小学生時代に行った自由研究（票数：323）

1位	昆虫観察・飼育	52票	蟻、カイコ、カブトムシ、クワガタ、鈴虫、セミ、ダニ、ボウフラ、蛭 など
2位	歴史・地域・職業・交通（社会）	49票	地域の歴史、城・史跡、地図製作、方言、公害、地域の産業 身近な職業、交通（道路・鉄道） など
3位	工作	41票	貯金箱、木工、紙すき、缶・瓶・ペットボトルを使った工作 トランジスタラジオ制作 など
4位	植物観察・栽培	32票	あさがお、ひまわり、水草、稲、サツマイモ、種子、果物
5位	サイエンス（実験）	31票	リトマス紙、塩の結晶、でんぷん、電池、色に関する実験 など
6位	動物観察・飼育	25票	カエル、カメ、魚 など
7位	宇宙や星	17票	宇宙、太陽、星座 など
8位	旅行	16票	家族旅行、林間学校、ボーイスカウトキャンプ、海外旅行
9位	海や川の生態	12票	貝殻採取、塩作り、生態しらべ
10位	気象	6票	台風、天気、雲

その他、読書 3票、日記 2票、料理・食品 2票 など

企業人に小学生時代に行った自由研究を自由回答で聞いたところ、323人より回答がありました。もっとも多かったのは「昆虫」に関することで、52票、次いで「歴史や社会」に関すること（49票）、「工作」（41票）と続きました。具体的な記述からみると、身近な生物、植物、材料、地域などをうまく活用して行ったことがうかがえます。

◆あなたがいま、自由研究をしたら何をしますか。（自由回答）

いま自由研究をしたら？ 票数：365

1位	人間について	37票	人間観察、人間行動、幸せ、コミュニケーションなど
2位	生物・動物・昆虫	34票	動物の飼育、生態、昆虫採取など
3位	地域・歴史	28票	地域の歴史、町の地図、地域活性、歴史上の人物、建築物など
4位	サイエンス（実験）	21票	発酵、化学実験、モーター、温泉、電気自動車など
5位	プログラミング	19票	
6位	食・料理	16票	食育、食品安全、食文化、料理、外食比べなど
7位	植物・農業	15票	野菜栽培、ミニ農園、植物採取・観察など
8位	社会問題	14票	高齢化、人口問題、介護など
9位	文化	13票	日本文化、伝統芸能、海外との文化比較など
9位	AI・ロボット	13票	
9位	宇宙・星	13票	天体観測、星座、ロケットなど

その他、自然（自然観察、自然との触れ合い）12票、気象（天気・地震）12票、経済・経営9票、旅行6票、環境問題6票、スポーツ・健康6票 など

企業人にいま自由研究をしたら何をするかについて自由回答で聞いたところ、人間観察、人間行動といった「人間」に関する回答が37票と最多となりました。次いで、生物・動物・昆虫に関すること（34票）、地域・歴史に関すること（28票）と続きました。

「人間」テーマは、日々仕事の中で人間関係に四苦八苦している企業人ならではの“大人の自由研究”といえそうです。

アンケート調査全体コメント：夏休み宿題・自由研究大作戦 事務局 久武克年

夏休みに数多く行われる企業の「理科実験教室」「工場見学」「工作教室」。小学生に向けたこうした活動は、企業人からみると「地域・社会貢献」という意識がもっとも高いことがわかりました。また、将来についても、小学生に向けた活動に対し前向きであると共に、より実益を伴った形にて展開されることが予想されます。

企業の社会的責任が重視される現代の経営において、「小学生（子ども）の育成」をキーワードにした企業価値の創造と結びついた活動は、今後さらに広がりを見せていくのではないのでしょうか。

一方、現代の小学生に対しては、外で体を動かして友達と遊んだり、自然・生物と触れ合う機会が少なくなっているのではないかと懸念している様子がみられます。企業が「友達と遊ぶ」ことを推奨したい理由としては子ども達にコミュニケーション能力を培って欲しいと強く望んでいる結果と考えております。同じように企業人たちの自由研究のテーマとして「人間観察」がトップに挙げられていることも、企業人がコミュニケーション能力に興味・関心がとても高いことを示している結果だと思われま

す。普段は塾や習い事で忙しい毎日を送っている小学生も、少し時間に余裕ができる夏休みだからこそ、友だちや自然・生物と関わる時間を大事にし、人・自然とコミュニケーションし自身で考えることで、さまざまな気付きを得てほしいものです。また、企業の皆さまには、小学生とのコミュニケーションを取っていただく場を積極的に増やしていただきたいと思

＜告知＞小学生とその保護者に向けた学習・体験イベント

「夏休み 2018 宿題・自由研究大作戦」東京・大阪・仙台で開催

新企画！ 小学館の学習雑誌『小学 8 年生』とのコラボで
自由研究コンテスト「第 1 回夏休み宿題・自由研究大作戦大賞」創設

公式サイト >> <https://www.jma-wakuwaku.com/index.html>

＜3会場共通＞

来場対象：小学生とその保護者

入場料：無料（Web事前登録が必要）※一部有料プログラムあり

東京会場／サポーター数：58

会期：2018年7月26日（木）～28日（土）各日9:00～16:00

会場：東京ビッグサイト 東7ホール

主催：一般社団法人日本能率協会

後援：東京都公立小学校長会



大阪会場／サポーター数：33

会期：2018年8月2日（木）・3日（金）各日9:00～16:00

会場：インテックス大阪 1号館

主催：一般社団法人日本能率協会

後援：大阪府小学校長会、大阪市立小学校長会



仙台会場／サポーター数：30

会期：2018年8月9日（木）・10日（金）各日9:00～16:00

会場：夢メッセ みやぎ

主催：一般社団法人日本能率協会

共催：一般財団法人みやぎ産業交流センター（夢メッセ みやぎ）

後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

取材に際してのお願い

◆ 報道機関の皆さまの取材をお待ちしております ◆

テレビ・ラジオ媒体の方は、必ず事前に、広報担当までご連絡をお願いします。

ご連絡先：03-3434-8620または080-3201-4599（斎藤宛）、E-mail: jmapr@jma.or.jp

取材をご希望の報道関係者（紙・web）は、取材当日各事務局までお越しく

ださい。事務局でのプレス受付後、会場に入場できる「PRESSバッジ」を

発行します。 ※取材に際しては、来場する保護者の了承のもと、行って